

破壊的イノベーションの視点からの 物流 DX おけるリスクマネジメントに関する一考察

○小野寺正浩 (Masahiro ONODERA)、鈴木邦成 (Kuninori SUZUKI)

Keywords : リスクマネジメント、ロジスティクス、破壊的イノベーション、持続的イノベーション、物流 DX

1 目的

本研究の目的は情報通信分野においてはレガシーシステムからの脱却を念頭に破壊的イノベーションの発生による競争優位の喪失を回避する必要があることを踏まえて、ロジスティクス領域においていかに破壊的イノベーションの発生に対応していくかということについて考察し、リスク回避における方策を検討することである。

2 方法

本研究の調査・分析方法は企業活動における持続的イノベーションについて分析しつつ、破壊的イノベーションによる競争優位の喪失が発生するリスクの有無を検証するというかたちでの類似事例比較法を用いる。加えて、物流企業について企業訪問、ヒヤリング調査を行い、ロジスティクスの視点からの破壊的イノベーションの発生事例を分析する。

3 結果

調査・分析の結果、運送事業においては配送ロボットやロジスティクスドローンによる自律配送の事例検証を、倉庫事業については物流不動産ビジネスの創出に関する事例検証を行い、これらのビジネスモデルが低コストかつフレキシブルな物流サービスを実現していることを確認した。特に物流不動産ビジネスの創出により、従来型のビジネスモデルが大きな岐路に差し掛かったことに言及し、伝統的な物流企業が破壊的イノベーションにより競争優位を失うリスクを指摘した。

4 結論

以上により、伝統的な物流企業には破壊的イノベーションの視点からのリスクマネジメントをより緻に展開する必要があることが確認できる。経験や勘が重視される物流現場では持続的なイノベーションが展開される土壌はあるが、破壊的イノベーションに関しては、十分なカウンターバランスが講じられないケースが多く、業界再編を誘発する大きな動因ともなりえる。

【主要参考文献】

Christensen, Clayton M., *The Innovator's Dilemma: When New Technologies Cause Great Firms to Fail*, Harvard Business Review Press, 2013.

Suzuki, Kuninori, Yutaka Kawai, and Keizo Wakabayashi, Design and analysis of the location of an online resale business distribution centre in Japan, *Production & Manufacturing Research* 4(1):152-174, 2016. DOI:10.1080/21693277.2016.1234951